2018年7月 例会報告

日時　2018年7月14日（土）午後2時～5時

場所　早稲田奉仕園 リバティホール

2018 年 7 月 14 日（土）午後 2 時から早稲田奉仕園リバティホールにおいて、日本詩人クラブ 7 月の例会が開催されました。司会は草薙定、宮本苑生の両氏。

川中子会長の挨拶に続き、会員による詩朗読とスピーチが行われました。朗読者は太田葉子氏（岐阜県大垣市）、臼田雅之氏（大田区）、細田傳造氏（さいたま市）、内田武司氏（板橋区）の 4 名でした。

講演は福島県在住の和合亮一氏による「未来を祀るために～その後の『詩の礫』」で、震災後にものの見方がどのように変わり、や何が変わったのか、記憶し続けることの重要性や氏が関わっている「未来神楽」などについて、お話していただきました。

例会終了後は近隣のサイゼリヤにて和合氏にもご出席いただき、懇親会が行われました。

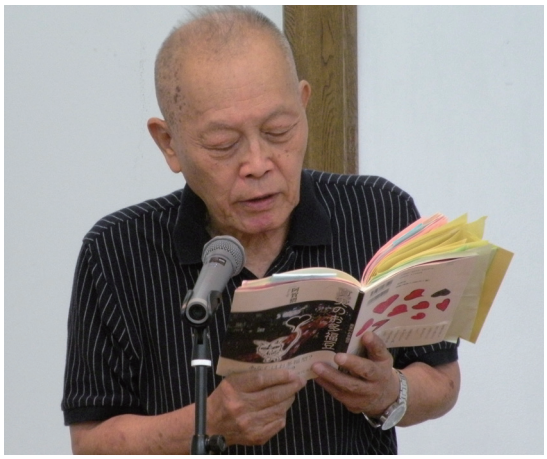
和合亮一氏の講演

会場風景

会員による詩朗読とスピーチ

太田葉子氏

臼田雅之氏



細田傳造氏

内田武司氏